

町田市自殺対策計画事業進捗シート 【関連事業（町田市）】

● 広聴課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の取組内容	2023年度の取組予定
関連-町田市-1-①	代表電話での案内・取次ぎ業務	<p>町田市の代表電話宛に「死にたいがどうしたらよいか」等の入電時への対応について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話対応時のオペレーターの注意点について ・保健予防課へ取次ぎができない場合の対応 ・閉庁時間帯の対応を実施します。 	<p>市民相談には2件相談がありました。相談者が関わっていた部署に取り次ぎ対応を依頼しました。</p> <p>代表電話には5件相談がありました。代表電話では、相談者に応じて「東京都自殺相談ダイヤルこころ」、「いのちのほっとライン」、「いのちの電話」、「よりそいホットライン」、「東京ウィメンズプラザ」を案内しました。</p>	2022年度の取組を継続

● 職員課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の実施内容	2023年度の実施予定
関連-町田市-2-①	職員のメンタルヘルス対策事業	自殺対策を支える職員が心身ともに健康で業務を遂行できるよう、メンタルヘルス研修やストレスチェックを実施します。	環境に変化があった人を対象に、職員向けのメンタルヘルス研修を合計5回実施しました。ストレスチェックを8月に実施し、93.0%の回答を得ました。結果が高ストレス状況だった職員へ面接等のフォローを行います。	職員向けのメンタルヘルス研修の実施、心身不調者への相談対応をする予定。

● 納税課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の取組内容	2023年度の取組予定
関連-町田市-1-②	徴収の緩和制度としての納税相談事業	<p>納税を期限までに行えない住民の中には、生活面で深刻な問題を抱えていたり、困難な状況にある方もいるため、そうした相談を「生きることの包括的な支援」のきっかけと捉え、猶予制度の案内や相談窓口への案内等が出来ます。</p> <p>また、窓口対応する職員がゲートキーパー養成講座を受講することで、気づき役としての視点を持つことや適切な機関への橋渡し等の役割を担えるようになる可能性があります。</p>	<p>期限内納付が困難な方に対しては丁寧な納税交渉を行っています。また、納税交渉を行う中で生活が困難な状況にあると思われる方については相手の状況に併せて適切な部署・機関を案内しています。</p>	<p>2022年度の取組を継続。</p>

● 市民協働推進課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の取組内容	2023年度の取組予定
主な取組1-(2)-②	女性悩み事相談	女性が抱える様々な問題について相談を受けます。必要に応じて関係機関等の情報提供等を行うことで、適切な機関への橋渡し等の役割を担えるようになります。	<ul style="list-style-type: none"> ・女性が抱える様々な問題について相談を受けるため、「女性悩みごと相談」事業を実施しました。 ・女性悩みごと相談周知用カードについて、過年度から設置していただいている民間事業所へ、2022年度も継続して協力をしていただくよう依頼しました。 ・女性悩みごと相談周知用カードについて、新たに大学1校(昭和薬科大学)に設置協力依頼を行い、了承を得られたため、設置を行うことができました。また、大学1校(桜美林大学)、JR町田駅にて「女性悩みごと相談」周知用ポスターを掲示することができました。 	引き続き、「女性悩みごと相談」について、民間事業所での周知協力依頼を行います。
関連-町田市-2-②	配偶者からの暴力防止及び被害者の保護のための施策の実施	<p>自殺につながるといわれるDVについて講座等を実施し、DV被害者への支援に携わる関係者の間で理解や認識を深めてもらいます。</p> <p>①デートDV講座 若年者を対象にデートDVに関する講座を行い、相手を尊重する関係を知ってもらうことで、DVの発生を未然に防ぎます。</p> <p>②配偶者からの暴力防止等関係実務担当者連絡会議 DVの防止及びその被害者の保護に関し、関係機関・部署が相互に連携し、DVの被害者への的確な支援を行うために開催します。</p> <p>③「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、DV防止啓発パネルの設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校2校(鶴川中学校、忠生中学校)にて、デートDV防止のための啓発講座を実施しました。 ・11月24日に和光大学にて、デートDV防止のための啓発講座を実施しました。 ・12月22日に「配偶者からの暴力防止等関係実務担当者連絡会議」を開催しました。 ・市庁舎イベントスタジオ(11月21日～25日)、町田市民フォーラム(11月7日～28日)にてDV防止啓発パネルの設置を行いました。 	2022年度の取組を継続
関連-町田市-2-③	消費生活相談にかかる多重債務連携事業	「消費生活相談」のうち多重債務にかかる相談について、迅速かつ効果的な解決のため弁護士や司法書士と連携している。消費生活センターだより特集号やホームページ等で「多重債務連携事業」について掲載することで啓発の機会となり得る。	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談のうち多重債務にかかる相談について、弁護士と連携し多重債務問題に取り組みました。(51件連携済) ・ホームページ等で「多重債務連携事業」について掲載しました。 ・9月5日、6日に東京都と共催で「多重債務110番」を実施しました。(相談1件) 	2022年度の取組を継続
関連-町田市-3-①	地域へのゲートキーパー養成講座等の情報提供	各地区協議会に対し、ゲートキーパー養成講座等に関する情報提供をします。	地区協議会の構成団体である、町内会・自治会の掲示板に案内チラシを7月15日に周知しました。	2022年度の取組を継続

● 福祉総務課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の実施内容	2023年度の実施予定
関連-町田市-1- ④	民生委員・児童委員協議会事務	<p>民生委員・児童委員には、同じ市民という立場から、相談者の中で問題が明確化していない状況であっても、気軽に相談できるという強みがあります。</p> <p>地域で困難を抱えている人に気づき、適切な相談機関につなげる上で、地域の最初の窓口として機能することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り訪問について、個々の事情に応じ、チラシ等を対面または非対面形式(ポスティング)で配布しています。 ・児童相談所、子ども家庭支援センターと協力し、子どもの見守りを実施しています。 ・冊子の配布等を通して、生活保護者の見守りを実施しています。 	2022年度の実施を継続

● 生活援護課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の実施内容	2023年度の実施予定
主な取組1-(2)-③	生活困窮者自立支援事業 (生活援護課)	生活の困りごとや不安を当事者の意思を尊重しながら相談を受けます。相談を通じて、生活の安定に向けた目標や支援内容を当事者と一緒に考え、一人ひとりの支援プランをつくります。プランに沿った実際の行動化と継続を支援することで前向きに生きる意欲を喚起し、自殺リスクの低減をもたらすことをめざします。	生活の困りごとや不安を当事者の意思を尊重しながら相談を受けています。相談内容に応じて、住居確保給付金の支給や、就労サポート町田と連携し就労支援を行っています。また、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金受給者からの相談にも対応しています。	生活の困りごとや不安を当事者の意思を尊重しながら相談を受けます。相談内容に応じて、住居確保給付金の支給や、就労サポート町田と連携し就労支援を行っています。また、生活福祉資金貸付制度利用者からの返済や猶予の相談にも対応しています。
関連-町田市-1-⑤	路上生活者に対する事務	緊急一時保護・自立支援事業を行います。路上生活者は自殺リスクの高い方や、自殺の問題要因の1つである精神疾患や各種障がいを抱えている方が少なくありません。見守り活動はそうした方々へのアウトリーチ策として有効に機能し得ます。	路上生活をされている方に対して、必要に応じ宿泊所等を利用し、生活保護を適用しています。生活保護受給後は、生活の自立に向けた支援を包括的に行っています。(住所不定者の申請件数58件:2022年度)	路上生活をされている方に対して、必要に応じ宿泊所等を利用し、生活保護を適用しています。生活保護受給後は、生活の自立に向けた支援を包括的に行っています。

● 障がい福祉課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の実施内容	2023年度の実施予定
関連-町田市-1-⑥	障がい者相談支援事業	各地域障がい者支援センターにて障がいに関する様々な相談に応じ、必要となる情報提供や助言、福祉サービスの利用支援を実施していきます。	年度当初の予定通り取り組んでいます。各地域障がい者支援センターにて障がいに関する様々な相談に応じていますが、今年度自殺に関する相談は入っていません。また、障がい福祉課の窓口で精神障害の方の自立支援医療と障がい者手帳の手続きを実施しておりますが、こちらも今年度自殺に関する相談は入っていません。	各地域障がい者支援センターにて障がいに関する様々な相談に応じ、必要となる情報提供や助言、福祉サービスの利用支援を実施しています。障がい福祉課の窓口で精神障害の方の自立支援医療と障がい者手帳の手続きを実施しており、対応の中で相談がある場合は、適切な相談窓口に繋いでいます。

● 高齢者支援課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の実施内容	2023年度の実施予定
関連-町田市-1-⑦	高齢者への総合相談事業	高齢者の総合的な窓口として、市の窓口や各高齢者支援センターにて相談を受け、必要な支援を実施していきます。	市民等からの各種相談に対しては、窓口対応・訪問対応を含め、新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、通常通り実施しました。	2022年度の実施を継続
関連-町田市-1-⑧	臨床心理士による介護者相談	各高齢者支援センターにて臨床心理士(こころの専門家)による介護者等相談を実施します。	各高齢者支援センターにて感染対策を講じた上で対面での相談を実施しました。	2022年度の実施を継続
関連-町田市-2-④	家族介護者教室	家族介護者等に、介護方法や各種制度などについて学ぶ教室を、各高齢者支援センターにて開催します。	各高齢者支援センターにおいて、24回開催しました。	2022年度の実施を継続
関連-町田市-2-⑤	家族介護者交流会	家族介護者同士が、情報交換をとおりてお互いに抱える不安を解消するための交流会を、各高齢者支援センターにて開催します。	各高齢者支援センターにおいて、70回開催しました。	2022年度の実施を継続

● 保健総務課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の取組内容	2023年度の取組予定
関連-町田市-1-⑪	医薬指導事業(医療安全相談窓口)	医療に関する様々な相談に応じる中で、適切な受診のための支援をするとともに、支援が必要な方に適切な相談先を案内します。	医療安全相談窓口で医療に関する様々な相談に応じています。自殺をほのめかすような相談があった場合は、相談先に繋いでいます。対象となる内容の相談が件あり、相談先を案内しました。	取り組みを継続

● 保健予防課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の取組内容	2023年度の取組予定
主な取組1-(2)-①	普及啓発事業	適切な受診につながるよう普及啓発(精神保健福祉講演会の開催や健康だよりへの掲載)を図ります。	健康だよりに、ひきこもり支援相談窓口について掲載	健康だよりに適切な受診につながる記事を掲載予定
主な取組2-(3)-①	ひきこもりに関する相談	ひきこもりに関する相談を関係機関と連携を図りながら実施します。	ひきこもりに関する相談に適宜対応しています。8050問題ケースについては関係機関と連携を図りながら対応をしています。	2022年度の取組を継続
関連-町田市-1-⑫	出産・子育てしっかりサポート事業	全ての妊婦を対象として面接を行い、心身の状態や子育て支援のニーズ等を把握します。支援が必要な方に対しては関係機関と連携し、出産後も支援を継続します。	しっかりサポート面接、オンライン面接を継続実施。	しっかりサポート面接(オンライン面接含む)継続。2022年3月から伴走型支援(相談支援)と経済的支援を開始しました。面接後にこども商品券1万円分と出産・子育て応援ギフト5万円分を支給、妊娠8か月にアンケート送付し、希望者には面談を行います。

● 児童青少年課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の実施内容	2023年度の実施予定
関連-町田市-2-⑧	学童保育事業	<p>学童保育事業を通じて、保護者や子どもの状況を把握したり、悩みを抱えた家庭との接点になる可能性があります。</p> <p>また、学童保育クラブの指導員がゲートキーパー養成講座を受講することで、問題を抱えている保護者や家庭と関係機関をつなぐ気づき役としての視点を持つことや適切な機関への橋渡し等の役割を担えるようになる可能性があります。</p>	<p>学童保育事業を通じて、保護者や子どもの状況を把握したり、悩みを抱えた家庭の不安が軽減できるよう支援を行いました。</p> <p>また、必要に応じて関係機関と連携を図りました。</p> <p>全学童クラブの職員を対象に、支援員が保護者から相談を受ける場合の対応方法コミュニケーション手法などを学ぶための資質向上研修を実施予定です。</p>	<p>学童保育事業を通じて、保護者や子どもの状況を把握したり、悩みを抱えた家庭の不安が軽減できるよう支援を行います。</p> <p>また、必要に応じて関係機関と連携を図ります。</p> <p>全学童クラブの職員を対象に、保護者や家庭を適切に支援することを目的として、関係機関との連携について、事例を交えて実践的な知識や技術を習得する研修を実施予定です。</p>
関連-町田市-2-⑨	子どもセンター・子どもクラブ事業	<p>子どもセンターに来館している子ども達の様子や職員とのコミュニケーションを通して、子どもたちの悩みや不安に寄り添える場となり得ます。必要に応じて子どもや保護者を関係機関につなぐ接点となる可能性があります。</p> <p>また、子どもたちとコミュニケーションを図る職員がゲートキーパー養成講座を受講することで、問題を抱えている保護者や家庭について、気づき役としての視点を持つことや適切な機関への橋渡し等の役割を担えるようになる可能性があります。</p>	<p>子どもセンターに来館する子どもや保護者とコミュニケーションを通して、悩みや不安に寄り添うとともに、必要に応じて適切な関係機関と連携を図りました。また、相談対応の向上を図るための研修を7月と9月に実施しました。</p> <p>5月から子どもセンターつるっこに地域子育て相談センターが設置されました。</p>	<p>子どもセンターに来館する子どもや保護者とコミュニケーションを通して、悩みや不安に寄り添うとともに、必要に応じて適切な関係機関と連携を図ります。</p> <p>また、相談対応の向上を図るための研修を5月に、子どもや保護者の心に寄り添うためのスキルを高める研修を9月、10月に実施します。</p>

● 子ども家庭支援センター

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の実施内容	2023年度の実施予定
関連-町田市-2-⑥	子ども家庭支援センター事業	<p>まこちゃんダイヤルカード(子ども専用相談ダイヤル)を市内小中学校の小4から中3の児童・生徒に配布し、子ども自身から様々な相談を受けています。 また、小学校6年生に対しての出前講座を行うなどの啓発活動も実施しています。</p>	<p>年度当初にまこちゃんダイヤルのカードを児童生徒に配布しました。 出前講座は昨年度から4校増え、全17校で実施しました。実施校の児童にアンケートを配布。気になる回答がある場合は学校へ調査依頼をして対応を行いました。学校で配布しているChromeBookで生徒が「死にたい」などと検索した場合、学校から報告を受け、虐待の可能性などがある場合は子ども家庭支援センターで対応を行いました。</p>	<p>まこちゃんダイヤルのカードの配布(小4から中3までの児童生徒数分)は引き続き行います。 2024年度から出前講座で使用している啓発活動のDVDをChromeBookに格納し、より多くの子ども達とその動画を観て虐待の理解を深めてもらうよう、準備を進めていきます。</p>
関連-町田市-2-⑩	母子・父子自立支援員設置事業	<p>ひとり親家庭等の相談に応じ、その自立に必要な情報提供及び助言、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行い、生活の安定、児童の福祉の増進を図るため、母子・父子自立支援員を配置しています。 また、自立支援員がゲートキーパー養成講座を受講することで、問題を抱えている保護者や家庭について、気づき役としての視点を持つことや適切な機関への橋渡し等の役割を担えるようになる可能性があります。</p>	<p>母子・父子自立支援員4名と、貧困対策支援員1名を配置し、ひとり親家庭の生活全般の相談や就労などに関する相談に対応しました。 担当職員2名がゲートキーパー養成講座を受講しました。</p>	<p>母子・父子自立支援員4名と、貧困対策支援員1名を配置し、ひとり親家庭の生活全般の相談や就労などに関する相談に対応します。 ゲートキーパー養成講座をまだ受講していない職員に、受講を促します。</p>

● 指導課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の取組内容	2023年度の取組予定
主な取組2-3-②	ゲートキーパー養成講座【教員職向け】(学校教育部指導課・健康推進課)	職員向けのゲートキーパー養成講座を実施します。	・7月に若手教員育成研修(1年次)において、講師の方からオンラインで講義をしていただきました。 ・2月に管理職、生活指導担当、養護教諭を対象にした講義を行いました。	2022年度の取組を継続
主な取組2-3-②	【新】SOSの出し方に関する教育の推進事業(学校教育部指導課)	授業においてSOSの出し方に関する教育を1時間、教育課程に位置付けます。	長期休業日前に1単位時間を活用し、DVD教材「SOSの出し方に関する教育を推進するための指導資料」などを使用した授業を実施しました。	2022年度の取組を継続
関連-地域-2-③	心のアンケート	いじめ防止のためのアンケートを、小中学校全校で月に一度行っています。必要に応じて担当が聞き取り、スクールカウンセラーにつないでいます。	・「心のアンケート」を、小中学校全校で月に一度実施しました。(他の自治体では年に数回の実施。) ・「心のアンケートチェックリスト」と「いじめ・虐待防止等のチェックリスト」をそれぞれ小中学校全校に送付し、校長会等で周知し、全校で実施しました。 ・学校では心のアンケートで気になる児童・生徒などに対して主に担当が聞き取りを行い、各学校に設置している学校いじめ対応チームで組織的に対応を検討したり、スクールカウンセラー等につなぐなど事案に応じた対応を行いました。	2022年度の取組を継続
関連-地域-2-④	子どもたちの見守り活動	登校時のあいさつ運動や10分休みや昼休みの時間の見守り、部活動の顧問による下校指導を行い、子どもたちの変化に少しでも早く気づくよう取り組んでいます。子どもの状態によって、その様子を担任に伝え、気になる場合は家庭に連絡します。	・各学校が登校時のあいさつ運動や10分休みや昼休みの時間の見守り、部活動の顧問による下校指導等を通して、日常の学校生活の中で子どもたちの変化が少しでも早く気づけるよう取り組みました。 ・日常の学校生活の中で他の教員が子どもの様子で気になる点などについて担任に伝えるなど教員間で共有を行い、連絡するなどを行いました。	2022年度の取組を継続
関連-地域-2-⑤	相談機関の一覧表配布	町田市教育委員会指導課から配布された相談機関の一覧表を全校配布しました。学校だよりの裏面に印刷し、子どもたちだけでなく、保護者にも情報が届くようにしました。	・町田市教育委員会指導課から相談機関の一覧表を全校配布しました。学校だよりの裏面に印刷し、子どもたちだけでなく、保護者にも情報が届くようにしました。	2022年度の取組を継続
関連-地域-2-⑦	校内委員会	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携し、児童・生徒の生活の様子等について確認し、どう児童生徒を支援していくかの話し合いを行っています。児童生徒の状況によっては、児童相談所、教育相談所、警察署、子ども家庭支援センター等とも連携を取り合っています。	・学校ではスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携し、児童・生徒の生活の様子等について確認し、どう児童生徒を支援していくかの話し合いを行いました。 ・児童生徒の状況によっては、児童相談所、教育相談所、警察署、子ども家庭支援センター等とも連携を取り対応しました。	2022年度の取組を継続
関連-地域-2-⑧	生活指導集会	生活指導集会に取り組み、気になる児童の様子等を話し合いの場に出して、情報交換をしています。	・各学校で設置されている生活指導担当の教員やスクールカウンセラーによる会議で、気になる児童の様子等について、情報交換を行い、教員間で共通理解を図りました。	2022年度の取組を継続

● 生涯学習センター

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の実施内容	2023年度の実施予定
関連-町田市-1-⑬	まちだ市民大学HATS事業	まちだ市民大学HATSで開催する講座の中で、自殺対策やこころの健康に関する講義を取り入れます。	”こころ”と”からだ”の健康学講座、まちだの福祉講座、人間関係学講座で、それぞれ、心の健康や人間関係について学習する機会を設けた。	引き続き、心の健康や人間関係の分野の学習機会を設ける。

● 市民病院医事課

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2022年度の取組内容	2023年度の取組予定
主な取組1-(2)- ④	病院運営事業 【ゲートキーパー養成講座・専門職向け】	自殺未遂者や自殺リスクを抱えた人への医療・社会的側面からの支援を行います。退院支援にあたって、関係機関との連携の充実を図り、地域全体でサポートを行う上で、切れ目のない支援をおこなっていきます。救急医療対策事業として、通常時間外で応急処置が必要な方の中には、自殺リスクに関わる問題を抱えているケースも想定され、必要な支援先につなぐ等の対応をとるなど、自殺対策と連動させることでより効果的な支援になり得ます。	救急医療対策事業として、自殺リスクを抱えている患者に対して、必要な支援先に繋ぐなどの対応を取っています。	専門職向けゲートキーパー養成講座への参加。自殺リスクの高い方を必要な支援機関へ繋ぐ対応を行う。